

## 30年前の広島県 —アジア大会前史—

令和5年（2023）10月11日（水）～12月23日（土）

令和5（2023）年5月に、G7広島サミット（主要国首脳会議）が広島県内で開催されました。開催を契機に、広島県は、国内外の注目を集めました。このように注目を集めたのは、現在だけではありません。平成6（1994）年10月に開催された「第12回アジア競技大会広島1994」では、アジアの42の国と地域の選手が一同に会し、スポーツや文化芸術活動を通じて交流を深めました。

今回の展示では、いまから30年前、アジア大会開幕直前である平成5（1993）年の広島県の姿を県立文書館が所蔵する行政文書や行政資料、広島県広報写真を通じて振り返りたいと思います。

### 1 平成5（1993）年の広島県



平成5（1993）年は、アジア大会にあわせて競技場や交通インフラが整備され、社会や景観が大きく変化した時期でした。広島広域公園（広島市安佐南区）には、「広島広域公園陸上競技場」が建設され、アジア大会では主会場として使用されました。その周囲は「西風新都」として整備されました。

広島県の政策においても、21世紀を見据えた計画の策定や大規模な開発が県内各地で推進されました。

広島広域公園から広島市内を望む航空写真  
平成6年撮影（広島県広報写真・S05-2008-007）

### 2 21世紀を見据えた計画・構想

平成5（1993）年における広島県の施策は、環境問題に対して、県民・事業者・行政一体となった行動指針を提示する施策、高齢化社会に対応するプラン、バイオテクノロジー推進に関する構想、科学技術振興の構想など様々な施策が立案されました。

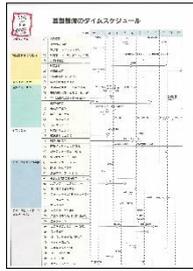
広島県地球環境保全行動計画「エコネット21ひろしま」平成5年8月（行政資料・4500-93-284）／21ひろしま長寿社会対策推進プラン平成5年9月（行政資料・3040-2004-562）／広島県バイオテクノロジー推進基本構想平成5年10月（行政資料・6035-2004-1372）／広島県における科学技術振興の基本方向平成5年11月（行政資料・W-17712）／広島県における科学技術振興の基本方向参考資料平成5年11月（行政資料・W-14998）



#### ● 「21ひろしまビジョン」の策定 平成5（1993）年3月

「21ひろしまビジョン」は、広島県におけるこれまでの社会基盤整備とアジア競技大会に結集された県民の力を発展・継承させる、アジア大会後の重点施策推進の中期展望である。展示しているのは、「21ひろしまビジョン」のほか、概要版と発展計画概要図である。





概要図にある「基盤整備のタイムスケジュール」からは、平成3～7年に事業計画が集中していることがわかる。

- ①21 ひろしまビジョン 21世紀のグランドデザインと推進方策 広島県発行 平成5年5月（行政資料・2030-U-971）
- ②21 ひろしまビジョン 21世紀のグランドデザインと推進方策 概要版 広島県発行 平成5年5月（行政資料・2030-U-972）
- ③21 ひろしまビジョン 広島県発展計画概要図 広島県発行 平成5年12月（行政資料・2030-99-267）

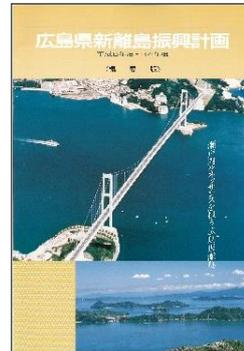
③

### ●離島振興計画と道路整備計画

平成5（1993）年4月

広島県新離島振興計画は、交通網の整備・産業の振興・生活基盤の整備・交流による活力のある島の創造の4項目を基本方針とする計画である。平成5年度～14年度にかけて、各種基盤整備とともに、ソフト対策にも重点的な取組を行うとした。広島県離島の将来像を「瀬戸内ルネッサンスを担う離島」という言葉で表現している。

広島県道路整備計画は、平成5年度～12年度にかけての広島県道路整備計画の全体構想を示している。高速道路から生活道路に至る一体的な道路ネットワークを「ひろしま交流ネットワーク」と総称し、道路整備のイメージを「広域ネットワーク」・「交流ネットワーク」・「定住ネットワーク」・「豊かな都市生活への対応路線」の4つに整理した。



①



②

- ①広島県新離島振興計画 平成5年度～14年度（概要版） 広島県離島振興協議会発行 [平成5年4月]（行政資料・2040-2005-162）
- ②ひろしま交流ネットワークの確立をめざして 広島県道路整備計画（平成5年～12年度） 広島県発行 [平成5年4月]（行政資料・7010-2005-541）

## 3 県内各地での開発

平成5（1993）年は、県内各地で大規模な開発が始まりました。広島港港湾整備事業、尾道流通団地の造成着手や新尾道大橋の架橋工事が始まりました。また、山陽自動車道が県内全通し、広島県内における道路網が整備されました。これらは、現在における重要な社会基盤となっています。



①



②



③



④

- ①広島港宇品内港地区港湾整備事業起工 平成5年2月9日（広島県広報写真・S05-2002-0172）
- ②尾道流通団地 平成10年撮影（広島県広報写真・S05-2008-0011）
- ③西瀬戸自動車道新尾道大橋 平成10年撮影（広島県広報写真・S05-2008-0011）
- ④山陽自動車道 福山西 IC～河内 IC間供用開始 平成5年10月（広島県広報写真・S05-2002-0127）

### ●広島港宇品内港地区港湾整備事業起工

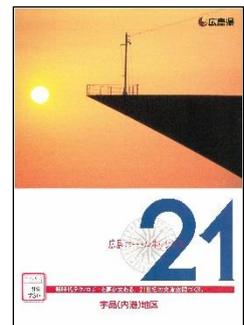
（広島ポートルネッサンス 21） 平成5（1993）年2月

平成5（1993）年2月9日、広島港宇品内港地区港湾整備事業が起工した。これは、「広島ポートルネッサンス 21」として、「広島海の玄関口にふさわしい国際港湾都市の建設」を進める計画の一環である。宇品地区（北地区）は都市開発ゾーン、宇品地区（南地区）はフェリー・旅客船ゾーン、出島沖合地区は国際的な人と物の交流ゾーンとして整備することを整備目標にしている。

- ①広島ポートルネッサンス 21 出島地区 広島県発行 平成7年1月（行政資料・7030-96-729）
- ②広島ポートルネッサンス 21 宇品（内港）地区 広島県発行 平成7年1月（行政資料・7030-96-730）



①



②

## 4 広島アジア大会と社会基盤整備

アジア大会開催に伴い、広島県内各地では、競技会場となる施設の整備が進みました。また、大会会場への交通アクセスを確保するため、交通網が整備されました。三原市に、「新広島空港」が開港しました（平成5年10月）。空港の周囲には、「中央森林公園」が整備され、現在でも、自然と親しむ場となっています。

### ● 広島空港臨空タウン整備計画 平成5(1993)年3月

平成4(1992)年3月に「新広島空港臨空都市圏プラン」が策定された。また、平成5年3月には「広島空港臨空タウン整備計画」が策定された。これらは、新広島空港（平成5年10月開港）からおおむね半径5kmの圏域を「広島空港臨空タウン」と名付け、人・物・情報の交流を活性化させる空港支援都市として整備する計画である。本文中では、臨空タウンを中心にして、臨空都市圏や各地域との関係性を示している。また、臨空都市圏内に設けられた4つのゾーンの役割や計画を説明している。

新広島空港臨空タウンPROJECT 広島県発行  
〔平成4年〕（行政資料・2040-2007-816）



### ■ 臨空タウンと中央森林公園



広島空港臨空タウン 航空写真 平成9年撮影  
(広島県広報写真・S05-2008-0010)



広島県立中央森林公園 平成5年撮影  
(広島県広報写真・S05-2002-0536)

## 5 新広島空港の開港（平成5年10月）



新広島空港ターミナルビル全景 平成6年撮影  
(広島県広報写真・S05-2002-0470)



新広島空港展望デッキからの光景 平成5年10月  
(広島県広報写真・S05-2002-0525)

## 6 アストラムラインの開通

広島広域公園と広島市中心部との間を「アストラムライン」（平成6年8月開通）が結んでいます。開通記念式典では、広島アジア大会マスコット「ポッポ」・「クック」やPRキャスト「エイシアード・ベレー」が参加し、開通を祝いました。アジア大会では、観客輸送の役割を担いました。現在では、生活を支える交通機関の一つとなっています。



アストラムライン  
 広域公園駅 [平成6年撮影]  
 (広島県広報写真・S05-2002-300)



アストラムライン開通記念式典  
 県庁前駅 平成6年8月19日  
 (広島県広報写真・S05-2002-298)

## 7 県立総合体育館 (平成6年2月開館)



広島市中区には、「県立総合体育館」(平成6年開館)が建設されました。アジア大会では、バレーボールや体操の会場となりました。その後も各種スポーツ大会やイベント会場として使用されています。

建設中の県立総合体育館 平成5年撮影  
 (広島県広報写真・S05-2008-0006)

## 8 県立びんご運動公園 (平成5年10月開園)

尾道市には、「広島県立びんご運動公園」が開園し、アジア大会ではサッカーの会場となりました。今では、レクリエーションやスポーツの場となっています。

県立びんご運動公園 航空写真 平成7年撮影  
 (広島県広報写真・S05-2008-0004)



## 9 広島市中心部の変容

広島中心部には、大規模な商業施設やホテルを有する「基町クレド」が開業しました。アジア大会前には、公式マスコットの「ポップ」と「クック」も参加し、「開幕500日前記念セレモニー」(平成5年5月)や「300日前セレモニー」(平成5年12月)が開催され、大会への機運を盛り上げました。

広島市中心部 航空写真 平成5年撮影  
 (広島県広報写真・S05-2008-006)



## 10 広島アジア大会まであと1年

「第12回アジア競技大会広島1994」は、平成6（1994）年10月2日から16日にかけて広島市を中心として広島県内各地で開催されました。「Asian Harmony わかちあう感動、結びあう友情。」をスローガンに42の国と地域の選手がスポーツを通じて交流を深めました。同時期に開催された「アジア競技大会広島アートフェスティバル」における芸術展示を通じて、文化の相互理解が進展しました。

アジア大会前年となる平成5（1993）年には、多くのイベントやキャンペーンが開催され、大会への機運を盛り上げました。例えば、平成5年2月から始まった「声のかけ橋キャンペーン」では、家庭や企業で未使用のまま机に眠っているテレホンカードを集める取組が行われました。

また、「一館一国・地域応援事業」では、広島市内の各公民館がそれぞれ1つの国・地域について理解を深めました。この地域理解や国際親善を深める取組は、後の国際的なスポーツ大会に受け継がれました。



第12回アジア競技大会広島1994 開幕500日前記念セレモニー  
平成5年5月撮影（広島県広報写真・S05-2008-700）

## 11 広島アジア大会に向けたイベント



第12回アジア競技大会広島1994 300日前イベント  
平成5年12月撮影（広島県広報写真・S05-2002-126）



第12回アジア競技大会広島1994  
県庁前カウントダウン時計 200日前  
平成6年3月撮影（広島県広報写真・S05-2002-126）

## ■ 行政文書にみる広島アジア大会

県立文書館が果たすべき役割として、県の行政文書を選別・収集・保存し、利用に供することがあります。

この役割は、①各課の保存年限が満了した行政文書の中から、「広島県の歴史資料」として必要な文書を探し出し、保存すること、②文書館での利用審査の進め、希望する方に閲覧・複写の方法によって文書を公開することで果たしています。

このような役割を果たす上で、「30年」という時間の経過は、重要な判断要素となります。例えば、各課における保存年限の最長期間が30年です。行政文書の利用審査を実施する際、30年を経過する場合は、「時の経過を考慮する」こととなります。また、当館における行政文書の整理では、「再選別」という仕組みを取り入れており、検討を開始する目安が、文書の完結後、「30年が経過」することになっています。

今年の場合、平成5（1993）年以前の行政文書が、当館における判断をする上で重要な意味を持つ、30年という時間が経過したことになります。

このような背景があるので、今回の展示では、「30年前」という「時間」をテーマに掲げました。

平成5年の広島県は、「第12回アジア競技大会広島1994」の1年前となります。

「広島県立文書館データベースシステム」で「アジア大会」と検索すると、61件の検索結果を得られます。この中から2冊の行政文書を取り上げ、行政文書から見えるアジア大会を紹介します。

① 総合企画／アジア大会1994 社会課（福祉保健課）

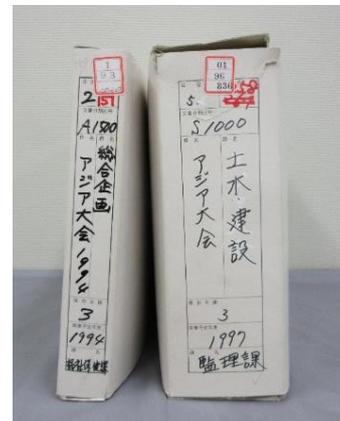
平成2年（01-93-1020）

平成3年4～12月にかけての文書が一括。アジア競技大会推進本部の会議資料が中心となっている。

② 土木建設／アジア大会 監理課 平成5年（01-96-836）

平成3～6年頃の文書が一括。アジア競技大会関連公共事業に関する文書で構成されている。

当館が所蔵するアジア大会関係の行政文書については、引き続き、整理作業や調査研究を進めていきます。公開可能な資料については、利用に供するとともに、展示などの機会で紹介したいと考えています。

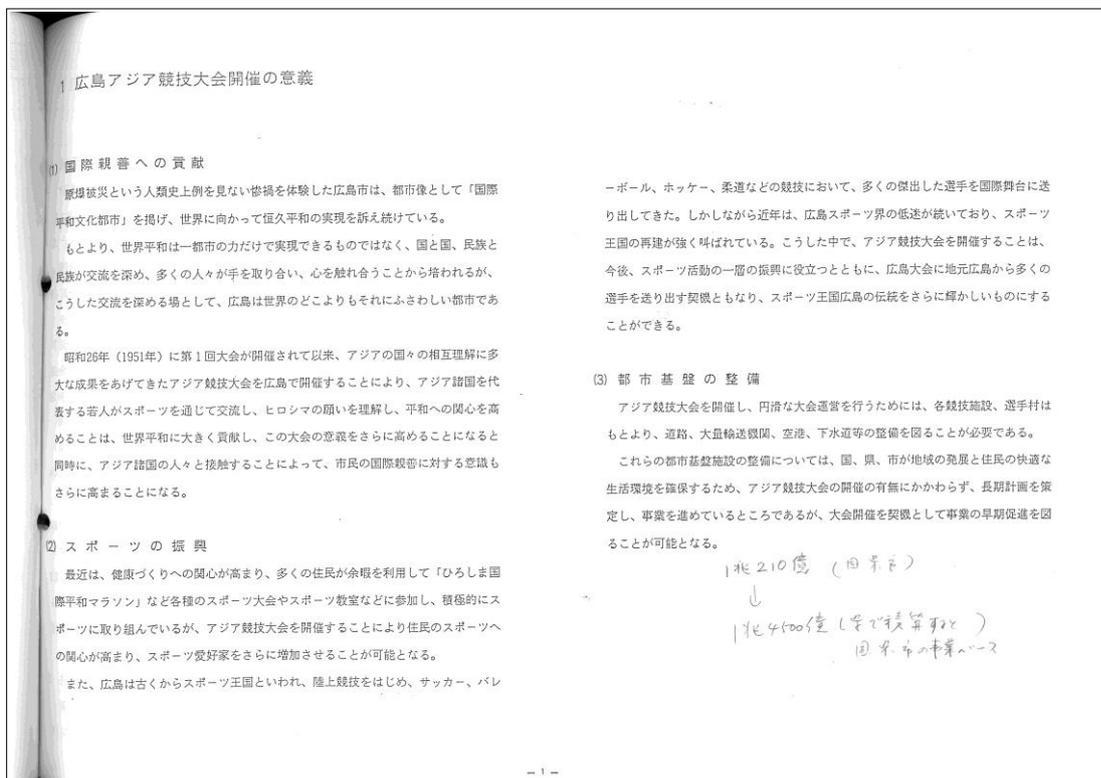


（写真）行政文書が収められている簿冊

● 広島アジア大会開催の意義 平成3（1991）年1月

平成3（1991）年1月9日に開催された県庁内における会議資料の中に、「広島アジア競技大会開催の意義」と題した文書がある。（1）国際親善への貢献（2）スポーツの振興（3）都市基盤の整備を広島開催の意義としている。

特に、（1）国際親善の項目では、「アジア諸国を代表する若人がスポーツを通じて交流し、ヒロシマの願いを理解し、平和への関心を高めることは、世界平和に大きく貢献し、この大会の意義をさらに高める」と説明している。このことは、「世界平和への願いをこめて友好の場にアジアの心を結び、力強く21世紀を拓く若人たちのスポーツの祭典」とする広島アジア大会の理念に反映された。



広島アジア大会開催の意義

総合企画／アジア大会1994 社会課（福祉保健課）平成2年度（行政文書・01-93-1020）36

●広島アジア大会の会場と競技

平成3～4 (1991～92) 年

「第12回アジア競技大会広島1994」には、アジアオリンピック評議会(OCA)加盟の42の国と地域の選手が参加し、34競技337種目と芸術展示が開催された。競技会場も広島市を中心とする広島県内各地(一部の競技は山口県)で行われた。

平成3(1991)年1月9日に開催された会議資料の中に、「広島アジア競技大会実施競技及び競技会場一覧」と書かれた文書がある。ここからは、競技会場とともに、競技数も25競技と想定されていたことが分かる(①)。その後、平成4年4月、第11回OCA総会(広島)で31競技337種目の実施が決定された。同年6月、カバディ・セパタクロー・テコンドーの3競技の追加が決定し、大会の競技数が確定した。ここでは、平成4年6月の会議資料の中から、追加となった3競技の概要を記した部分を紹介する(②)。

広島アジア競技大会実施競技及び競技会場一覧

実施競技	競技種別	競技会場	所在地
陸上競技	広島広島公園陸上競技場	広島市安佐南区	
水泳	広島市総合屋内プール	広島市東区	
アーチェリー	広島市緑野公園	広島市安佐区	
バドミントン	広島工業大学総合体育館	広島市佐伯区	
バスケットボール	広島経済大学体育館 (決選・予選)	広島市安佐南区	
ボウリング	広島市総合体育館 (予選)	大竹市	
卓球	広島市総合体育館	広島市東区	
ボクシング	広島市総合体育館	広島市東区	
カヌー	八千代町土庫ダム(八千代湖)	八千代町	
自転車競技	広島競輪場	広島市東区	
馬術競技	広島競馬場	広島市東区	
フェンシング	三瓶リョウジスタジアム	三原市	
柔道	広島広島公園陸上競技場 (決選)	広島市安佐南区	
レスリング	広島広島公園陸上競技場 (予選)	広島市安佐南区	
サッカー	広島県総合グラウンド陸上競技場 (予選)	広島市西区	
	びんご広島運動公園陸上競技場 (予選)	尾道市	
	みよし運動公園陸上競技場 (予選)	三次市	

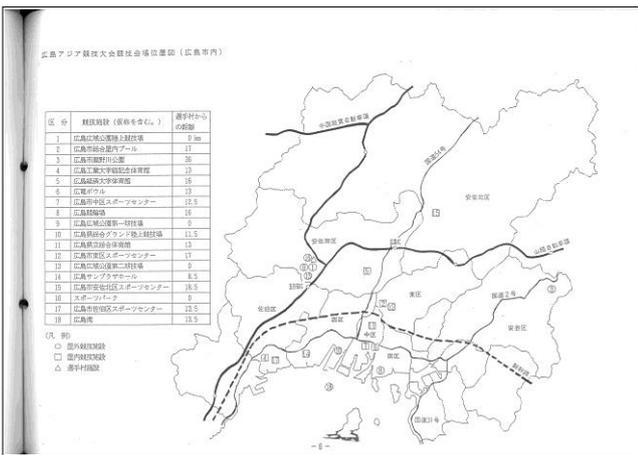
  

実施競技	競技種別	競技会場	所在地
ゴルフ	広島カントリー倶楽部八木荘コース	東広島市	
保龄	広島県立総合体育館	広島市西区	
ハンドボール	広島市東区スポーツセンター	広島市東区	
ホッケー	広島広島公園第二陸球場	広島市安佐南区	
柔道	広島サンパゾホール	広島市西区	
射撃	福山市月田川河口	福山市	
新体操	広島市東区スポーツセンター	広島市東区	
卓球	広島市東区スポーツセンター	広島市東区	
テニス	スポーツプラザ(広島広島公園陸球場)	広島市安佐南区	
バレーボール	広島サンパゾホール (予選)	広島市西区	
	高市体育館 (予選)	高市	
ウエイトリフティング	広島市東区スポーツセンター	広島市東区	
レスリング	東広島運動公園体育館	東広島市	
ボート	広島県		

※ 競技場名の右は、参考のものを含む。

①広島アジア大会開催競技

総合企画/アジア大会1994 社会課(福祉保健課)  
平成2年度 (行政文書・01-93-1020) 36



①広島アジア大会の会場

総合企画/アジア大会1994 社会課(福祉保健課) 平成2年度 (行政文書・01-93-1020) 36

追加3競技の概要

区分	カバディ (Kabaddi)	セパタクロー (Sepak Takraw)	テコンドー (Taekwondo)
種別	インドネシア・マレーシア・タイ	インドネシア・マレーシア・タイ	韓国
種目数	2種目	2種目	2種目
実施会場	広島市総合屋内プール	広島市総合屋内プール	広島市総合屋内プール
実施日程	7月27日(水)～29日(金)	7月27日(水)～29日(金)	7月27日(水)～29日(金)
実施種別	男子	男子	男子
実施種別	男子	男子	男子

追加3競技の概要

区分	カバディ (Kabaddi)	セパタクロー (Sepak Takraw)	テコンドー (Taekwondo)
種別	インドネシア・マレーシア・タイ	インドネシア・マレーシア・タイ	韓国
種目数	2種目	2種目	2種目
実施会場	広島市総合屋内プール	広島市総合屋内プール	広島市総合屋内プール
実施日程	7月27日(水)～29日(金)	7月27日(水)～29日(金)	7月27日(水)～29日(金)
実施種別	男子	男子	男子
実施種別	男子	男子	男子

②広島アジア大会 追加3競技の概要  
土木建設/アジア大会

監理課 平成5年度 (行政文書・01-96-836) 39

●広島アジア大会のチラシ・パンフレット

平成2～4（1990～92）年

財団法人アジア競技大会組織委員会が作成した3つ折パンフレット「第12回アジア競技大会広島1994」〔平成2（1990）年〕や広島アジア競技大会推進協議会が作成したパンフレット「Asian Games REPORT」〔平成3年〕からは、準備状況や大会の広報活動を知ることができる。他にも、ニュースレター、芸術展示参加者の募集、広島県アジア競技大会対策室作成のパンフレット〔平成4年〕など多種多様な広報媒体が作成された。



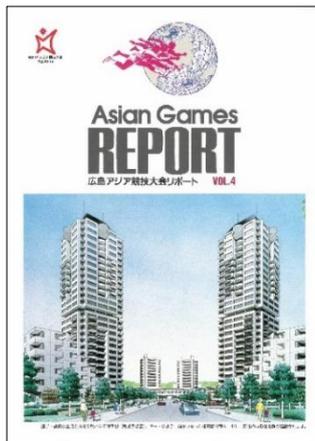
①72



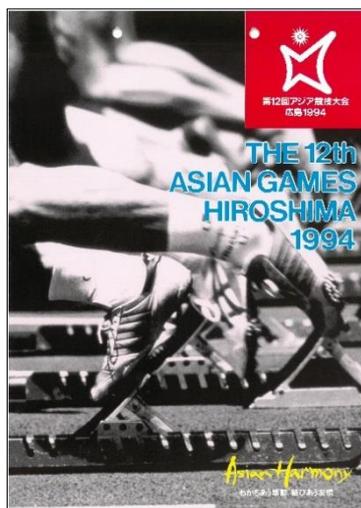
②369



②366



①72



②139



①79

- ①総合企画／アジア大会 1994  
社会課（福祉保健課）平成2年度  
（行政文書・01-93-1020）72・79
- ②土木建設／アジア大会  
監理課 平成5年度  
（行政文書・01-96-836）139・366・369

令和5年度第2回収蔵文書の紹介展 展示図録  
30年前の広島県 —アジア大会前史—

発行日：令和5（2023）年10月11日  
編集・発行：広島県立文書館

広島県広島市中区千田町三丁目7-47

（担当：新原淳弘）